

「キャリア・パスポート」について

青森県教育委員会

【目的】

このキャリア・パスポートは、小・中・高等学校の12年間を見通し、系統的・継続的に活用することによって、児童生徒が自らのキャリア発達を振り返り、将来の夢の実現に向けた意欲の喚起や持続、人生設計に役立てるものである。

また、教師は児童生徒のキャリア学習の足跡を知る資料となり、学年や校種が変わっても継続した指導に結び付けることができるものである。

【作成方針】

1 キャリア・パスポートは、「児童生徒のキャリア発達の振り返り」や「自分の将来の生き方や夢実現に向けて意欲をもつ」などを支援するため、小学校から高等学校までの12年間の系統的な内容とし、1冊のファイルとして次の学年・学校に引き継ぐようにする。

2 キャリア・パスポートは3年間で1セットとし、青森県キャリア教育の指針〈総論編〉(以下「〈総論編〉」という。)の「キャリア教育で培いたい資質、能力、態度」(P10～13)を具現化したものであり、具体的な内容としては以下のとおりである。

(1) 「明日へはばたく力」(培いたい力)について

- ・「明日へはばたく力」を支えるものとして、〈総論編〉の「キャリア教育で培いたい資質、能力、態度を支える心」(P10)で2つの気持ちを示している。
- ・「明日へはばたく力」は、〈総論編〉「キャリア教育で培いたい資質、能力、態度」(P11)を基にしており、4つの円内に示した目標は、このキャリア・パスポートで身に付けてほしい目標である。

(2) キャリア・パスポートの具体的な内容について

- ・各学年1つの目標に対して1ページ、計4ページの構成としている。
- ・12年間を見通した系統的な内容になるように構成しており、具体的な文言は、〈総論編〉の「キャリア教育で培いたい資質、能力、態度」の発達の段階ごとの具体例(P13)を参考に、児童生徒の発達の段階を踏まえた内容・表現としている。

(3) 教師用手引き

- ・キャリア・パスポートで示す青森県が目指す「キャリア教育で培いたい資質、能力、態度」と、国が示す「基礎的・汎用的能力」は、以下のように対応している。

青森県が目指す「キャリア教育で培いたい資質、能力、態度」	国が示す「基礎的・汎用的能力」
自己を見つめる力	自己理解・自己管理能力
つながる力	人間関係形成・社会形成能力／キャリアプランニング能力
動く／生かす力	課題対応能力
創り出す力	キャリアプランニング能力

- ・活用時期、活用場面、活用に当たっての留意点等を示している。

【活用方法】

- 1 キャリア・パスポートは、小学校から高等学校まで12年間で64ページ（32枚）となっており、各学年で記述したものは1冊のファイルにして次の学年・学校に引き継いでいく。
なお、個人情報が含まれることから、管理については十分留意する。
- 2 キャリア・パスポートは、学年4ページ、3年間で1セットの構成になっているが、どの学年からでもスタートさせることができる。
- 3 キャリア・パスポートには、児童生徒が当該学年でキャリアについて学んだこと（自分がやってきたこと、感じたこと、考えたこと）を記録する。
- 4 キャリア・パスポートの最後に、教師や保護者からの評価を記載し、児童生徒への励ましや以後の方向付けをする。
- 5 キャリア・パスポートの様式は、県教育委員会のホームページに掲載しているので、ダウンロードすることで活用できる。
○キャリア教育（<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/kyariakyouiku.html>）